

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-224991

(43)Date of publication of application : 12.08.1994

(51)Int.Cl.

H04M 1/53

H04M 1/00

H04M 1/57

H04M 1/64

(21)Application number : 05-024994

(71)Applicant : TEREKA:KK

(22)Date of filing : 21.01.1993

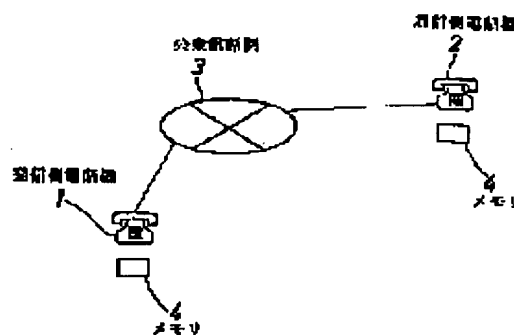
(72)Inventor : SHIMIZU TOSHIO
KUMAHARA NORIO

(54) TELEPHONE CALL SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To allow the system to automatically cope with line connection with a caller with a set reply or call method by using a removable memory so as to set optionally the reply or call method for each caller in advance.

CONSTITUTION: A removable memory 4 is used for a telephone set 1 of a caller with a display device and a specific party is selected while displaying lots of names to be registered and a telephone number is dialed by adding an additional number. A public telephone network 3 receives the number and sends the additional number and the caller telephone number in addition to a call signal. A telephone set 2 at a called party with a display device receives the call signal from the public telephone network 3, then the telephone set 2 discriminates which method among various reply or call methods such as automatic message recording, bell tone calling, melody tone calling, lamp display, voice MUM calling, bleeper paging and transfer telephone call. Then the reply or calling is executed automatically according to the discriminated one or two replies.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 21.01.1993

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 27.06.1995

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-224991

(43)公開日 平成6年(1994)8月12日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 M	1/53	7190-5K		
	1/00	K 7117-5K		
	1/57	7190-5K		
	1/64	F 8731-5K		

審査請求 有 請求項の数 1 F D (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平5-24994

(22)出願日 平成5年(1993)1月21日

(71)出願人 000133951

株式会社テレカ

東京都中央区銀座5丁目5番4号

(72)発明者 清水 俊夫

神奈川県横須賀市金谷2-14-1-203

(72)発明者 熊原 紀夫

東京都練馬区関町南4-19-11-201

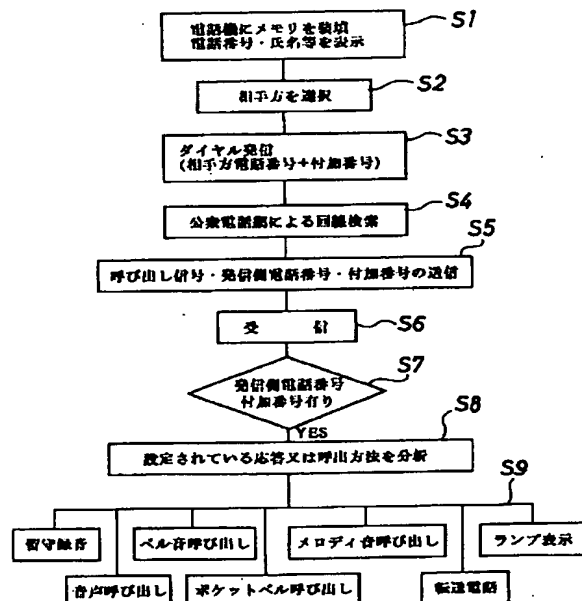
(74)代理人 弁理士 原田 信市

(54)【発明の名称】 電話呼出方式

(57)【要約】

【目的】 着脱自在なメモリを使用して自動的にダイヤルできるばかりでなく、更に着信側において、メモリを使用して発信者ごとの応答又は呼出方法を予め任意に設定しておくことにより、当該発信者との回線接続時に、その設定した応答又は呼出方法で自動的に対応できるようにする。

【構成】 発信側の電話機において着脱自在なメモリを使用し、それに登録された多数の相手方の氏名等を表示しながら、特定の相手方を選択してその電話番号に付加番号を付して発信する。公衆電話網は呼び出し信号の他に上記付加番号及び発信側電話番号を送信する。着信側の電話機において、着脱自在なメモリを使用して該メモリに記憶された異なる数種の応答又は呼出方法を表示してその中から一又は2以上を発信者ごとに予め設定しておくことにより、発信側電話番号及び付加番号の着信に基づき、その設定した応答動作又は呼出動作を行う。



【特許請求の範囲】

【請求項1】発信側のディスプレイ付電話機にメモリを着脱自在に装填し、該メモリに記憶された相手方の氏名等を読み出しディスプレイ上に表示して選択することにより、その選択した相手方の電話番号に付加番号を付して発信し、公衆電話網において該相手方電話番号から着信側回線を検索して上記発信側のディスプレイ付電話機の電話番号と上記付加番号とを呼び出し信号とを送信し、着信側のディスプレイ付電話機において、メモリを着脱自在に装填して該メモリに記憶された異なる数種の応答又は呼出方法をディスプレイ上に表示し、その中から一又は2以上を発信者ごとに予め設定しておくことにより、着信時に当該発信者に対応する応答又は呼出方法を上記発信側のディスプレイ付電話機の電話番号及び上記付加番号によって識別し、その識別した応答又は呼出方法に従った応答動作又は呼出動作を行うことを特徴とする電話呼出方式。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、いわゆる留守録音、ベル音呼び出し、メロディ音呼び出し、ランプ表示、音声呼び出し、ポケットベル呼び出し、転送電話等の各種の応答又は呼出方法の中から、任意に選択した方法で応答又は呼び出しできる電話呼出方式に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、メモ리카ードに複数の相手方の電話番号を記憶しておき、このメモ리카ードを発信の際にディスプレイ付電話機に装填し、その記憶された電話番号を読み出して表示しながら選択し、その選択表示した番号を見て手動でダイヤル又は自動的にダイヤルできるものは、例えば特開昭64-62947号公報や特開平1-253351号公報や同4-215352号公報等で公知である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、これらは、いわば電子電話帳であるメモ리카ードを使用し、これに記憶された電話番号をディスプレイ上に表示して手動又は自動的にダイヤルできるだけであり、着信側における応答方法や呼出方法を選択できる機能はない。

【0004】そこで、本発明の目的は、メモ리카ード等の着脱自在なメモリを使用し、これに記憶された電話番号を従来と同様にディスプレイ上に表示して手動又は自動的にダイヤルできるばかりでなく、更に着信側において、メモリを使用して発信者ごとの応答又は呼出方法を予め任意に設定しておくことにより、当該発信者との回線接続時に、その設定した応答又は呼出方法で対応できるようにすることにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明による電話呼出方式では、発信側のディスプレイ付電話機にメモリを着脱

自在に装填し、該メモリに記憶された相手方の氏名等を読み出しディスプレイ上に表示して選択することにより、その選択した相手方の電話番号に付加番号を付して発信し、公衆電話網において該相手方電話番号から着信側回線を検索して上記発信側のディスプレイ付電話機の電話番号と上記付加番号とを呼び出し信号とを送信する。一方、着信側のディスプレイ付電話機においては、メモリを着脱自在に装填して該メモリに記憶された異なる数種の応答又は呼出方法をディスプレイ上に表示し、その中から一又は2以上を発信者ごとに予め設定しておくことにより、着信時に当該発信者に対応する応答又は呼出方法を上記発信側のディスプレイ付電話機の電話番号及び上記付加番号によって識別し、その識別した応答又は呼出方法に従った応答動作又は呼出動作を行う。

【0006】

【作用】本発明の電話呼出方式を利用する場合、着信側（受信側）では、着脱自在なメモリをディスプレイ付電話機に装填し、該メモリに記憶されている例えば留守録音、ベル音呼び出し、メロディ音呼び出し、ランプ表示、音声呼び出し、ポケットベル呼び出し、転送電話等の各種の応答又は呼出方法の中から、任意の一又は2以上のものを発信者ごとに選んで予め設定しておく。発信側のディスプレイ付電話機で相手方（着信側）を呼び出す場合には、着脱自在なメモリ（例えば個人別とする）を装填してそれに記憶されている電話番号や氏名等をディスプレイ上に表示し、通話したい相手方を選択する。すると、その選択した相手方の電話番号と共に個人別の付加番号が発信される。公衆電話網は、この相手方電話番号を受けてそれに対応する着信側回線を検索し、呼び出し信号の他に上記付加番号及び発信側のディスプレイ付電話機の電話番号を送信する。つまり、着信側に発信者通知サービスを行う。着信側のディスプレイ付電話機は、呼び出し信号により呼び出されるとき、送信されてきた発信側電話番号及び付加番号から当該発信者に対応する応答又は呼出方法を読み出し、それに従った応答動作又は呼出動作を自動的に行う。この場合、発信側電話番号は発信元を特定し、付加番号は同じ発信元での個人を特定する機能をもつ。

【0007】

【実施例】以下、本発明の一実施例について説明する。図1において、発信側のディスプレイ付電話機1と着信側のディスプレイ付電話機2とは公衆電話網3を通じて回線接続される。これら電話機1・2は、例えばカード型ICメモリ等のメモリ4・5をそれぞれ着脱自在に装填すると、該メモリ4・5にデータの書込み・読み出しを任意に行えるときに、そのデータをディスプレイ上に表示できるようになっている。

【0008】メモリ4・5は、電子電話帳を兼ねていて多数の相手方の電話番号や氏名等を任意に登録（記憶）でき、また例えば留守録音、ベル音呼び出し、メロディ

音呼び出し、ランプ表示、音声呼び出し、ポケットベル呼び出し、転送電話等の各種の応答又は呼出方法に関するデータが記憶されている。

【0009】着信側の電話機2では、メモリ5を装填して該メモリ5から上記のような各種の応答又は呼出方法に関するデータを読み出し、それをディスプレイ上に表示しながらその中から一又は2以上を発信者ごとに予め設定しておく。

【0010】発信側の電話機1から特定の相手方を呼び出すときは、メモリ4を装填して該メモリ4に登録されている相手方の電話番号や氏名等をディスプレイ上に表示しながら(図2のステップS1)、特定の相手方(着信者)を選択する(ステップS2)。すると、その選択した相手方電話番号のダイヤル発信が通常どおり行われるとともに、その電話番号と共に個人別の付加番号が発信される(ステップS3)。公衆電話網3は、この発信された電話番号を受けて該電話番号から着信側の電話機2との回線を検索し(ステップS4)、相手方の電話機2に呼び出し信号と共に発信側電話番号(発信側の電話機1の電話番号)及び付加番号を送信する(ステップS5)。

【0011】一方、着信側の電話機2では、公衆電話網3から呼び出し信号を受信すると(ステップS6)、該呼び出し信号と共に発信側電話番号及び付加番号が送られてきたか否かを判断し(ステップS7)、送られてきた場合には、上記のように予め設定しておいてある応答又は呼出方法を分析する(ステップS8)。つまり、当該発信側電話番号及び付加番号によって識別される者については、留守録音、ベル音呼び出し、メロディ音呼び出し、ランプ表示、音声呼び出し、ポケットベル呼び出し、

＊し、転送電話等の各種の応答又は呼出方法の中からどれが設定されているかを判別する。そして、その判別した一又は2以上の応答又は呼出方法に従った応答動作又は呼出動作を自動的に行う(ステップS9)。その際、着信した発信側電話番号及び付加番号から発信元と発信者名をディスプレイ上に表示することもできる。

【0012】

【発明の効果】以上述べたとおり本発明によれば、発信側の電話機において着脱自在なメモリを使用し、それに登録された多数の電話番号や氏名等を表示しながら、特定の相手方を選択して自動ダイヤルできるばかりでなく、着信側の電話機において、着脱自在なメモリを使用して該メモリに記憶された異なる数種の応答又は呼出方法を表示してその中から一又は2以上を発信者ごとに予め設定しておくことにより、当該発信者との回線接続時に、その設定した応答又は呼出方法で自動的に対応できる。従って、着信時に電話取次ぎが不要であるとともに、メモリを着脱自在に装填できるディスプレイ付電話機があれば、そのメモリ容量限度内で多人数の呼び出し受付が可能である。

【図面の簡単な説明】

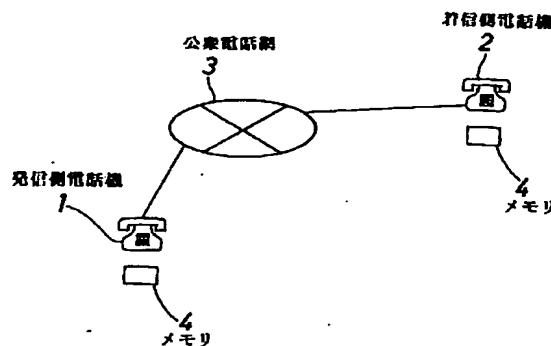
【図1】本発明による電話呼出方式のシステム構成図である。

【図2】同方式による発信から応答又は呼び出しまでのフローチャートである。

【符号の説明】

- | | |
|-----|----------------|
| 1 | 発信側のディスプレイ付電話機 |
| 2 | 着信側のディスプレイ付電話機 |
| 3 | 公衆電話網 |
| 4・5 | メモリ |

【図1】



【図2】

